

第23回電波功績賞表彰式が開催されました

6月20日、第2回定時総会に引き続き、第23回電波功績賞表彰式が開催され、総務省 松崎総務副大臣からご祝辞を頂戴し、総務省総合通信基盤局 鈴木電波部長から総務大臣表彰の表彰状が授与されました。また、当会の片山会長から一般社団法人電波産業会会長表彰の表彰状が贈呈されました。

表彰状受領後、受賞者を代表して株式会社 mmbi 代表取締役社長 二木 治成 様よりご挨拶がありました。



第23回電波功績賞表彰式の様子



表彰式における
片山会長のご挨拶



表彰式における
松崎副大臣のご祝辞



表彰式における
羽鳥選考委員長のご挨拶

1 総務大臣表彰

(1) 「V-high マルチメディア放送の開発・実用化」

株式会社 mmbi

代表 二木 治成 殿 (株式会社 mmbi 代表取締役社長)

株式会社 ジャパン・モバイルキャスティング

代表 永松 則行 殿 (株式会社 ジャパン・モバイルキャスティング
代表取締役社長)

ISDB-T マルチメディアフォーラム

代表 関 祥行 殿 (ISDB-T マルチメディアフォーラム 議長)

放送分野において、VHF 帯による携帯端末向けの通信と放送が連携した新しいサービスを提供するシステムを開発し、電波を有効に利用したマルチメディア放送の実用化に大きく貢献した。

(2) 「デュアルモード消防救急無線通信システムの開発・実用化」

日本電気株式会社 消防救急無線システム開発チーム

代表 椎名 操 殿 (日本電気株式会社 消防・防災ソリューション事業部
システム技術部長)

移動通信分野において、アナログ方式とデジタル方式を備えたデュアルモード無線通信システムをソフトウェア無線技術により開発し、電波を有効に利用した消防救急無線通信システムの実用化と、デジタル化の促進に大きく貢献した。

2 一般社団法人電波産業会会長表彰

(1) 「地震・津波緊急情報配信システムの高度化」

株式会社 エヌ・ティ・ティ・ドコモ ETWS 開発グループ

代表 尾上 誠蔵 殿 (株式会社 エヌ・ティ・ティ・ドコモ 執行役員 研究開発推進部長)

移動通信分野において、地震・津波などの緊急情報をより速やかに伝えるため、情報の構成を最適化したシステムを開発するとともに、その仕様を国際標準に反映し、電波を有効に利用した緊急情報配信システムの実用化に大きく貢献した。

(2) 「デジタルマイクロ波無線方式における周波数の有効利用」

日本電信電話株式会社 新 11GHz 帯無線方式開発グループ

代表 中村 俊男 殿 (日本電信電話株式会社 NTT アクセスサービスシステム研究所
第三推進プロジェクト 主任研究員)

無線通信分野において、これまでの 4/5GHz 帯無線方式の代替えとなる大容量の 11GHz 帯無線方

式を開発し、電波を有効に利用したデジタルマイクロ無線方式の実用化と移動通信用周波数の再編成に大きく貢献した。

(3) 「CDMA2000 1xEV-DO マルチキャリア伝送方式の実用化」

KDDI 株式会社 1xEV-DO マルチキャリア開発・実用化チーム

代表 松永 彰 殿 (KDDI 株式会社 モバイルアクセス技術部 部長
(現 標準化推進室 副室長))

移動通信分野において、CDMA2000 1xEV-DO の最大3キャリアを一つの移動機が同時に使用できる効率的な伝送方式を開発し、電波を有効に利用した携帯電話システムの実用化に大きく貢献した。

(4) 「携帯通信端末を自律的に活用するすきま通信技術の開発と実用化」

KDDI 株式会社・株式会社 KDDI 研究所 すきま通信技術開発・実用化チーム

代表 中村 元 殿 (株式会社 KDDI 研究所 ネットワーク設計グループ グループ
リーダー (現 KDDI 株式会社 LTE 端末開発室 室長))

無線通信分野において、個々の通信端末が自律的に通信量の少ないすきまの時間帯を見出し確実にデータ伝送する技術を開発し、電波を有効に利用した機器間通信システムの実用化に大きく貢献した。

(5) 「AXGP システムの実用化」

Wireless City Planning 株式会社

代表 宮川 潤一 殿 (Wireless City Planning 株式会社 取締役 COO)

移動通信分野において、最新の TDD 技術の導入などにより、110Mbps の伝送速度を実現する AXGP システムを用いたサービスを提供し、電波を有効に利用した広帯域移動無線アクセスシステムの実用化に大きく貢献した。

(6) 「次世代地上デジタル放送に向けた大容量伝送技術の開発」

日本放送協会 放送技術研究所 開発グループ

代表 村山 研一 殿 (日本放送協会 放送技術研究所 専任研究員)

放送分野において、超多値 OFDM 技術や偏波 MIMO 技術などを用いて、6MHz 幅で約 79Mbps の伝送が可能な大容量伝送技術を開発し、電波を有効に利用した次世代の地上デジタル放送方式の検討に向けて大きく貢献した。



受賞者を代表して 株式会社 mmbi 代表取締役社長 二木 治成 様
のご挨拶



第23回電波功績賞表彰式終了後の全員による記念撮影

後列左側から

栄藤様(尾上様の代理)、中村(俊)様、松永様、中村(元)様、村山様、

前列左側から

関様、二木様 片山会長、鈴木電波部長、羽鳥選考委員長、永松様、椎名様